

# 事故防止に向けた安全対策 【 ローリング 】

## 1 競技特性

- (1) 実技指導書等を参考に、競技の特性や特徴を記載する
- (2) 競技特性に応じた事故の特徴を記載する
- (3) 過去の重大事故例等を記載する

## 2 想定される事故事例と予防策

### (1) 主として【施設・設備・用具】が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの原因（事例）	傷害例	予防策
・オールを振り回す	捻挫、打撲、擦過傷、骨折 など	・オールを持ち運ぶ際には周囲の安全確認を徹底すること
・艇の損傷	擦過傷 など	・出艇前に艇の確認を行う

### (2) 主として【活動内容】が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの原因（事例）	傷害例	予防策
ポートコース ・終始背面方向への進行になるので、前方を確認できず衝突事故が起こる危険性がある。	捻挫、打撲、擦過傷、骨折 など	・前方にいる漕者は危険な状況になる前に声掛けをする。また、遅い選手やクルーはコースの外側を利用し、早い選手やクルーはコース中央を利用するなど、コース利用の方法を明確に提示し、選手達に安全を確認した上で実施する

### (3) 主として【環境条件等】が要因となって起こる事故

想定される事故やけがの原因（事例）	傷害例	予防策
・高温多湿の環境下や長時間にわたる練習による熱中症	熱失神、熱疲労、熱けいれん、熱射病	・環境状況に応じた運動、休憩、水分補給等の計画を立てる ・すぐにアイシング等が出来るよう、道具の準備をしておく ・屋外での練習にこだわらず、室内練習も計画しておく ・屋外での練習時間を短時間に出来るよう、計画をしておく
・暴風波浪の環境下の練習による事故	捻挫、打撲、擦過傷、骨折 など	・事前の気象情報の確認、当日の現場の状況確認を適切に行い、無理な判断はせず、屋外での練習だけでなく、屋内練習も計画しておく